

湯殿山丑歳・未歳御縁年の縁起

本年は湯殿山丑歳・未歳御縁年の大変有り難い年にあたります。

丑歳・未歳御縁年とは宇宙方程式の真理から説かれ、即ち湯殿山御宝前（御神躰）は
大日如来（胎・子宮を意味する）のお姿であります。天・地・陰・陽、自然の法則に
より、私たち衆生すべてが如来の胎児としてこの世に生まれた訳であります。同時に
衆生すべての胎内に如来となる種子が宿っていると考えます。古来より湯殿山は
曼陀羅のお峰と言われ、胎蔵界曼荼羅と金剛界曼荼羅の二つが融合して両部曼陀羅
となります。理と智の冥合であります。その冥合体の金剛界の右足（仏界）が丑・
寅の方位、胎蔵界の右足（仏界）が未・申の方向に位置しているのです、丑歳と未歳が
湯殿山の御縁年に定められ、父母のお峰と言われたのであります。

この有り難い丑歳・未歳御縁年に湯殿山の御本尊を祀るお寺、大日坊において、皆々
様の幸福・安全・厄払いの御加護と智恵とを授けられますようお祈り申し上げます。

合掌

